



FX-552W (Liteリモコン) 利用ガイド

取扱説明書(JPN_Ver1.0)

はじめに

本製品は無線調光対応の照明 (以降、照明と表記) を様々な色や明るさに変えることができるリモコンです。照明を部屋やエリア (チャンネル) に分けて操作することができ、色や明るさの状態をメモリー登録することができます。必ずお読みの上、正しくお使いください。

利用開始手順

STEP1 チャンネル登録 照明をチャンネル登録する

- 取り込みたい照明だけ電源をONにします。
- 取り込みたいチャンネルに表示を合わせます。
CHの◀▶ボタンで調整します。
- スキャン実施(ON/set + CHの鍵ボタンを 同時に3秒長押し)
※取り込み中、チャンネル表示が点滅します。
- 照明の点滅を確認出来たら、取り込み完了です。

補足説明

- チャンネル登録前に、照明を施工し、給電できるようにする必要があります。登録したチャンネル(CH)単位で照明器具を制御されます。
- 照明は最大35のチャンネルに分けることができます。(1〜9、A〜Z)
鍵アイコンが表示されている場合は◀▶操作を受け付けません。
CHの鍵ボタンを3秒間長押し、表示を消してからチャンネル変更してください。
- チャンネル登録時の通信強度は変更できません。電波強度設定の最大出力で通信します。
- 完了後、任意のボタンを押して制御できるか確認してください。(STEP2参照)
この操作で一度に取り込める照明は多くとも15台程です。
制御できない照明がある場合、照明の近くで、3の操作を行ってください。

※複数台リモコンをご利用時、チャンネルは共通で利用されます。
チャンネル表示を同じにすると、照明を複数リモコンで操作できます。

表1.明/暗 寒色/暖色制御範囲

明/暗 調光率[%]	100	90	80	70	60	50	40	30	20	10	5	
寒色/暖色 色温度[K]	12000	10000	8000	6500	6000	5500	5000	4500	4000	3500	3000	2700 2500 2000 1800

※TunableLEDZの制御可能な色温度範囲は6500K-2700Kです。

製品仕様

- 電源：単4 乾電池 2本
- サイズ：W45*D23*H150 ※本体のみ
- 重量：0.1 kg ※本体のみ
- 通信見通し半径：15m以内 ※通信強度設定が最大の時
※設置条件や現場環境により、通信距離は変動します。
※15m以内でも設定場所/方向/通信を遮断する材質の構造物等の現場環境/などにより
通信出来ない場合があります。
- 動作温度：+5℃〜+35℃
- 保存温度（非動作時）：-10℃〜+50℃
- 湿度：5〜75%（結露しないこと）

各部の名称・機能

ON/set ボタン
LCDの表示内容で点灯します。
他機能の設定時にも使用します。

OFF ボタン
消灯します。(調光率0%)

明/暗 ボタン
明るさを変更します。 ※表1参照

寒色/暖色 ボタン
色温度を変更します。 ※表1参照

Color ボタン (赤/青/濃/淡)
演出色を変更します。 ※表2参照

Memory メモリー ボタン ※表3参照
任意の調光率と色を再生します。
▶：順送り メモリ内容が表示されます。
◀：逆送り メモリ内容が表示されます。
OK：メモリー呼び出し

液晶表示部
Dimming : 調光率を表示します。
CCT : 色温度を表示します。
Color : 演出色を表示します。
Memory : メモリー番号を表示します。
CH : 制御チャンネルを表示します。
🔒(鍵) : 表示時、チャンネルが固定されています。
Set : リモコンの設定変更時に点滅します。
📶 : 電波強度設定を表示します。
通信時に点滅し、点灯時は通信可
消灯時は操作を受け付けません。
🔋 : バッテリー残量が少なくなると表示されます。
※表示内容は、リモコン毎に送信した直近の
情報を表示します。

CHチャンネルボタン
▶：順送り 制御するチャンネルを変更します。
◀：逆送り 制御するチャンネルを変更します。
🔒：3秒長押し操作により、チャンネル固定の有効/無効を変更します。

リモコン構成品



STEP2 リモコンの操作方法

- 制御したい照明のチャンネルにCHの◀▶ボタンを用いて表示します。
- お好みの光色、明るさに光を変化させます。

明るさの操作 (参照:表1)
明/暗ボタンを押して明るさを調整します。
[調光率:100%〜5%]

色温度の操作 (参照:表1)
寒色/暖色ボタンを押して色温度を調整します。
[色温度:晴天色(12000K)〜ろうそく色(1800K)]

カラーの操作 (参照:表2)
感覚的に濃/淡ボタン (表2の縦軸) で色の濃さを調整、
赤/青ボタン (表2の横軸) で色味を調整します。
※Synca対応製品のみカラーライティングが可能です。

メモリーの呼び出し (参照:表3) メモリーに登録された光を呼び出す
Memoryの◀▶ボタンを用いて1〜9を表示し、OKを押すことで、登録された光を再生します。

表2.Synca演出 濃淡赤青 制御範囲

Step	赤								青
濃	R1-1	R2-1	O1-1	O2-1	Y1-1	Y2-1	B1-1	B2-1	
	R1-2	R2-2	O1-2	O2-2	Y1-2	Y2-2	B1-2	B2-2	
	R1-3	R2-3	O1-3	O2-3	Y1-3	Y2-3	B1-3	B2-3	
	R1-4	R2-4	O1-4	O2-4	Y1-4	Y2-4	B1-4	B2-4	
淡	R1-5	R2-5	O1-5	O2-5	Y1-5	Y2-5	B1-5	B2-5	

表3.メモリー 初期出荷状態

メモリー	調光率[%]	色
1	100	6500K 昼光色
2	100	5000K 昼白色
3	80	4000K 白色
4	50	2700K 電球色
5	100	R1-1 赤
6	100	O1-1 オレンジ
7	100	Y1-1 黄
8	100	B2-1 青
9	100	R1-5 紫

STEP3 メモリーの登録 任意の光色、明るさを登録する

- 照明に登録したチャンネルに合わせます。
CHの◀▶ボタンで調整します。
- 登録したいメモリーを呼び出します。
Memoryの◀▶ボタンで調整し、OKを押します。
- メモリーに登録したい調光率/色になるように調整します。
明るさ、色温度、カラーのボタンで調整します。
- ON/SetボタンとメモリーのOKボタンを同時に3秒間長押しします。
メモリー番号とSetインジケータが3回点滅すると完了です。

補足説明

- STEP1 補足説明2参照
- STEP2 2手順参照 (メモリー呼び出し)
- STEP2 2手順参照 (明るさ/色温度/カラー)
- メモリー内容はリモコン毎に保存されます。

その他 操作/設定

照明の初期化 チャンネル登録を解除する

- 初期化したい照明の電源をONにして点灯させます。
初期化したくない同じチャンネルの照明は電源をOFFにしてください。
- CHの◀▶を用いて初期化したいチャンネルを表示します。
※STEP1 3の手順参照
- ON/Setボタンと淡ボタンを同時に3秒間長押しすると
インジケータ (Set表示) が1回点滅、CH表示が点滅状態になります。
- 初期化できた照明が点滅します。
※対象の照明が点滅しない場合は近くで3を再度実行してください。

リモコンの初期化 登録した設定を出荷状態にする

- 背面にある電池カバーを外し、リセットボタンを8秒間長押しします。
- リモコン表示部のインジケータ (Set) が3回点滅後に
表示部が消灯すれば、メモリーの初期化は完了です。

通信距離を調整する

通信距離を短くする：ON/Set ボタンと寒色 ボタンを同時押します。
通信距離を長くする：ON/Set ボタンと暖色 ボタンを同時押します。

照明の通信量を調整する

通信量を少なくする：ON/Set ボタンと暗 ボタンを同時押します。
通信量を元に戻す：ON/Set ボタンと明 ボタンを同時押します。

チャンネル(CH) ◀▶の操作 有効/無効 設定

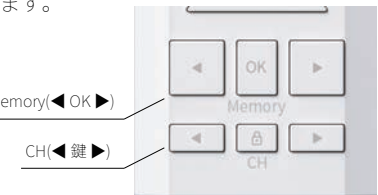
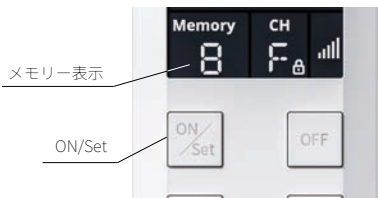
チャンネル切り替えの有効/無効を切り替えるには🔒ボタンを3秒長押しします。
”🔒”表示あり：CH ◀▶の操作無効
” ”表示なし：CH ◀▶の操作有効



明るさの操作
色温度の操作
カラーの操作
メモリー呼び出し

表3.メモリー 初期出荷状態

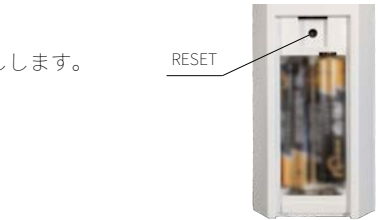
メモリー	調光率[%]	色
1	100	6500K 昼光色
2	100	5000K 昼白色
3	80	4000K 白色
4	50	2700K 電球色
5	100	R1-1 赤
6	100	O1-1 オレンジ
7	100	Y1-1 黄
8	100	B2-1 青
9	100	R1-5 紫



メモリー表示
ON/Set
Memory(◀OK▶)
CH(◀鍵▶)



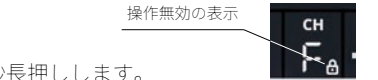
ON/Set
カラー 淡



RESET

表4.電波強度一覧

表示	通信目安距離
📶	15m
📶	10m
📶	3m
📶	1m
📶	至近距離



操作無効の表示

製品概要

- 本機は、Smart LEDZシリーズの無線調光対応製品を制御する事ができる機器です。
照明以外の制御可能機器は、有線リピータ/位相調光ユニット/PWM信号ユニット/a接点ユニットです。
- 本機は他のシステムと組み合わせて使用できません。
- 本機は照明器具の電源を入切する機器ではありません。
照明器具の電源スイッチは必ず設けてください。
- 本機は直接通信可能な近距離の照明器具を制御する機器です。
- 本機を同一現場に複数台使用する場合、チャンネルは共通で使用されるためそれぞれのリモコンで互いを制御できます。不都合がある場合、使用するチャンネルを分けるか、電波強度の調整を行ってください。
- 本機の設置工事は、「安全上のご注意」を十分理解の上確実に実施してください。
- 本機で照明を制御するには設定が必要です。「設定手順」を参照ください。
- この取扱説明書は保守の為、お客様に必ずお渡しください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- その他、ご不明な点最寄り営業所にお問い合わせください。

⚠ 注 意	●本書に記載している画面およびイラストは実際の製品と異なる場合があります。 ●本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。 ●本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。 ●本書は内容について万全を期して作成しておりますが、万が一不明な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらご連絡ください。 ●本機の不適切な使用、本書に基づかない使用を理由とする損害、逸失利益等の損害請求につきましては、当社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
-------------	--

システム概要

- 本機は無線調光対応製品と組み合わせて使用し、調光/調色の操作が可能で、同一現場で複数台利用することができます。
- 既存品FX507Wから本製品に置き換えを行う場合、表5に示すチャンネルに合わせることで、そのままご利用いただけます。
※ただし、メモリー設定は再度行って頂く必要があります。

表5.チャンネル互換

チャンネル					
FX507W	A	B	C	D	
FX552W	1	2	3	4	

⚠ 注 意	●リモコンを複数台利用する場合、メモリー等の内容はリモコン毎に保存されます。 チャンネルは共通で利用される為、重複すると複数のリモコンから照明が制御されます。 ●1台のリモコンにおいて、メモリーの記憶内容は全チャンネル共通で利用されます。 ●1台のリモコンで複数のチャンネルを同時に制御することはできません。
-------------	---

製品の設置

ホルダーの設置

木ネジをホルダーの穴に通し、ホルダーが固定されるまで最後まで回して締めてください。

⚠ 注 意	●木ネジは木の壁に固定する場合にのみご使用できます。 ●木ネジは付属のネジを使用してください。 ●木ネジをあまりにも強い力で締結すると、ホルダーが破損するおそれがあります。 ●リモコンは無線調光対応製品と通信します。 リモコンは無線モジュール搭載の照明器具から見通せる位置でお使いください。
-------------	---

- 電池の入れ方
- 1.本体下方向に電池カバーの爪を押し、電池カバーを外してください。
 - 2.電池の極性(+)と(－)を確認して挿入してください。
 - 3.電池カバーを再度閉じてください。

- 電池交換の目安
- 以下を目安に取り替えてください。
- ・電池の使用開始から1年経過している。
 - ・ ”が表示されている。
 - ・液晶画面のバックライトが暗く視認性が悪い。

⚠ 注 意	●長時間リモコンを使用しないとき、電池を使い切ったときは電池を取り外してください。 リモコンの中に放置すると、液漏れを起こしてけがや火傷、リモコンを破損させるおそれがあります。 ●電池は単4形乾電池以外のものや、新旧の電池をまぜて使わないでください。 ●電池交換の際、必ず2本とも交換してください。 ●電池の極性(+)(-)を間違えないように入れてください。 ●付属の電池は動作確認用です。開梱時に電池が消耗している場合がありますので、早めに電池交換してください。 ●充電式電池は使用しないでください。寸法や性能が異なります。
-------------	---

注意事項

電波干渉によって、次のような状態になる可能性があります。

1) 無線モジュール付照明器具・リモコン・その他無線モジュール内蔵オプションとの通信距離の短縮

2) 通信の一時的または完全な遮断

電気機器やAV・OA機器、または電磁波が発生する磁気機器の付近でのご使用は避けて下さい。

周りの磁気や電気ノイズによっては通信ノイズが増えて無線通信が遮断される可能性があります。(特に電子レンジを使用する場合)

TV、ラジオなどの付近やモバイルルーターの使用は電波干渉を起こすことがあります。

無線通信(電波)は周囲の障害物により遮へいされたり、反射したりします。

障害物による影響の程度は、以下のとおりです。

表6.障害物による影響の程度

材質	金属	コンクリート	レンガ	石膏ボード	合成樹脂	ガラス
障害の影響	とても大きい	大きい	中	小さい	小さい	小さい

安全上のご注意

ご使用前に”安全上のご注意”をよくお読みの上、正しくお使いください。

故障の可能性があります

- 製品の分解、修理、改造はしないでください。(故障の原因となります。)
 - 水に濡れる恐れがある場所でのご使用はしないでください。
 - 水に濡れた場合はご使用をやめて、販売店または最寄営業所にご相談ください。(故障の原因となります。)
 - 湿気、ホコリ、すすの多い場所には置かないでください。(故障の原因となります。)
 - 直射日光の当たる場所、ストーブの近くなど35℃以上の高温になる場所や火気の周りおよびエアコンの吹き出し口の近くでのご使用、設置はしないでください。(故障の原因となります。)
 - 施工は購入店または専門業者に依頼してください。
 - 重量に十分に耐えられる場所に確実に取り付けてください。(落下による故障の原因となります。)
 - 製品を落とすなど強い衝撃を与えたり、製品の上に重いものを置かないでください。(故障の原因となります。)
 - 製品の内部にホコリなどの異物が入らない様に注意してください。(故障の原因となります。)
 - オプション部品は付属の専用オプション部品をご使用ください。(故障の原因となります。)
 - 製品に水をかけたり、ベンゼン、シンナーなどの化学物質で拭かないでください。(故障および表面をいためる恐れがあります。)
 - 磁石など磁性の強いものと一緒に保管しないでください。(故障の原因となります。)
 - 可燃性ガスが触れる可能性のある場所には設置しないでください。(発火の原因となります。)
 - 濡れた手で本体に触れないでください。(故障の原因となります。)
 - 乾燥していない壁紙やコンクリート面に設置しないでください。(絶縁不良や固定部のサビにより、故障、落下の原因となります。)
 - 定期点検のおすめ
 - ・1年に1回程度の点検をおすすめします。
 - ・ホコリの蓄積、異常な臭い、異音、発熱が無いことを確認してください。
- 異常を感じた場合はご使用をやめて、最寄営業所にご相談ください。

⚠ 警 告	誤った取扱いをしたときに製品の故障及びデータ損失の可能性があります。
-------	------------------------------------

ご使用上に関するお知らせ

以下については故障や異常ではありません。

- リモコンの近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 通信環境によって通信に遅延が発生する恐れがあります。
- ”寒色/暖色ボタン”及び”メモリーボタン”の調色命令はTunable→Syncaの順に別々に送信されます。Synca器具の制御が他のボタンの制御に比べ遅く感じる場合があります。
- リセットボタン操作時、液晶画面全体が点滅するモードに入ることがあります、もし液晶画面が点滅した場合、何れかのボタンを押して通常モードに戻してください。
- 早い連続操作時、一部操作が実行されないことがあります。
これは、通信量が過剰にならない為の処理であり、マークが点滅は通信中、消灯時は待機中です。
長くとも2秒以内には次の操作が可能になります。
- 液晶画面消灯時、何れかのボタンを1度だけ押したとき、操作が反映されないと感じるかもしれません。
画面消灯時から初めてボタンを操作されたとき、直近の操作記録に基づいて液晶表示を行い、表示される内容の命令を送る為、リモコンを1台で利用されている場合、上記のように感じます。
これは、同一チャンネルで複数リモコンをご利用される場合、又は1台のリモコンを複数チャンネルで利用される場合、必ずしも表示内容と、照明の状態が一致しないことがあるための処置です。

2.4GHzの装置の注意事項

本製品は2.4GHz帯高度化小電力データ通信システムが組み込まれており、2.4GHz全帯域を使用する無線設備で移動体識別装置の帯域に対して回避可能です。

本製品は産業、科学、消費者及び医療機器等に使用されるのと同じ周波数帯域で動作しています。この周波数帯域は、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、製造生産ライン(免許を要する無線局)で使用する移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局(免許を要しない無線局)およびアマチュア無線局(免許を要する無線局)などが含まれています。

- 1) 本製品を使用する前に移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、およびアマチュア無線局そして、特定小電力無線局とアマチュア無線局を識別するための無線基地局が近くに運営されていないことを確認してください。
- 2) 本製品が特定の無線局および無線基地局に妨害電波干渉を起す場合には、すぐに電波の発信を停止し、別の場所に移動するか使用を停止してください。
- 3) 本製品は、電波法に基づく特定小電力無線通信システムの無線局の端末設備として技術基準適合証明を受けた部品が内蔵されています。
- 4) 本製品は、技術基準適合証明等を受けていますので、本製品を分解・改造した場合、法律で罰せられることがあります。

保証とアフターサービス

保証規定

- 1)保証期間内に故障して、無償提供をご依頼の場合、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 2)保証期間および範囲

- 保証期間は、製品お買い上げ日<お引渡し日>より3年間です。
3年以降の2年間は、同品(同等品)を無償提供となります。
無償提供は、故障または当社が認めた機器に限ります。
無償提供に関しては、取り付け・取り替えなどの費用は含まれません。
- アフターサービスについてご不明な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 3)保証期間内でも、次のような場合には有償になります。
 - a.仕様範囲外で使用了ことによる事故、損傷や故障の場合。
 - b.当製品を改造した場合。
 - c.操作方法の不備による事故、損傷や故障の場合。
 - d.使用上の誤り(水などの液体こぼれ、水没、落下等)、または、誤接続や誤挿入による事故、損傷や故障の場合。
 - e.有寿命部品、消耗品(バッテリー、乾電池等)の自然消耗、劣化等により部品の交換が必要になった場合。
 - f.据え付け場所の不備による事故、損傷や故障の場合。
 - 化学薬品および強電界などの特殊環境条件。結露、塩害など。
 - g.据え付け工事での取り扱い不備がある場合。
 - 据え付け工事での取り扱い不備のための事故、損傷や故障の場合。
 - h.火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による事故、損傷や故障の場合。
 - i.本機事故に起因した営業保証などの2次保証はいたしません。
 - j.その他、据え付け、操作、保守上常識となっている内容を逸脱したご使用での事故、損傷や故障の場合は保証できません。
- 4)この保証内容は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償提供をお約束するものです。
したがって、この保証内容によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

株式会社 遠藤照明

【URL】 <https://www.endo-lighting.co.jp>